

大まかな予算の枠組み (概算枠) 設定の概要

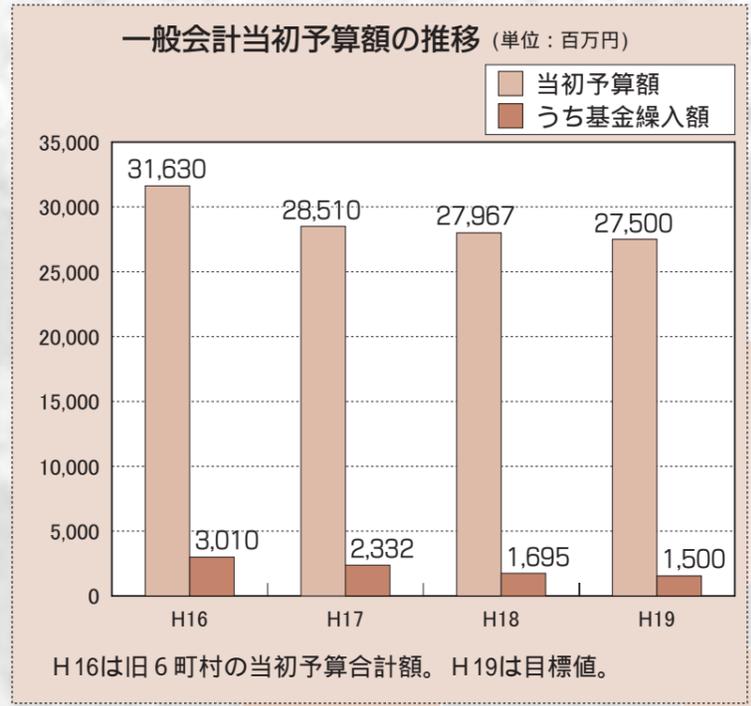
一般財源がなければ
事業はできない

予算をつくるときは、まず、一般財源がどうなるのかを考えます。一般財源とは、使い道が限定されず、自治体の裁量で自由に使えるお金のことで、市税や国から交付される地方交付税が主なものです。なぜ、一般財源を真っ先に考えるかというと、ほとんどすべての事業は一般財源を使わないと事業ができないからです。また、一般財源を使わなくても国や県のお金だけで事業ができるものもありますが、大部分は、一般財源がなければ事業はできません。事業の財源は、それぞれの事業によって異なりますが、国や県の財源に市の一般財源を足して行うもの、国や県の財源はなく、すべて市の一般財源で行うもの、また、投資的事業の場合は、借入金に市の一般財源を足して行うものなどがあります。一般財源がなければ、いくら国や県の財源があったり、借入金を起こ

すことができたりしても事業はできません。また、借入金の返済金の財源は大部分が一般財源です。雲南市では、借入金の返済金が増大しており、事業に回す一般財源を相対的に減らさざるを得ない状況です。

概算枠の設定
予算の概算枠設定に当たっては、まず、歳入での一般財源の見込みを立てますが、雲南市では、この時点で、これまでの歳入の状況から、一般財源が足りないことが明らかです。

その一般財源の足りない部分は、基金の取り崩しで補うこととなりますが、なるべく基金からの取り崩しが少なくなるようにしなければ、すぐ



文部科学省 生涯学習政策局生涯学習推進課 板持 裕子

学社連携・融合による 教育活動の推進

丸の内通信 第2号

文部科学省で派遣研修している職員から届いた近況報告などをお伝えします。

今回は「わたしの想い(10月号参照)」なるものを書かせていただきましたが、今回は文部科学省(以下「文科省」)での1日について書きたいと思います。

文科省の勤務時間は午前9時半から午後6時半まで。地方と1時間のずれがあるのは、朝の通勤ラッシュを緩和するためとも言われています。

一日の始まりは、新聞チェックです。9時半までに主要な新聞(読売、日経、産経、朝日、東京等)の夕刊、朝刊から最新の国会情報、教育関連記事をチェックし、該当記事を切り抜き、スクラップにしたものを記録に残します。これは幹部の方々にも渡され目を通されます。それが済めば、各自電子メールのチェックを行います。今ではどの職場でも主流となっていますが、ここでも同様に仕事は全て電子メールをもって処理されています。

メールをチェックし、緊急度の高い仕事から処理していきます。

仕事の切りが時間単位(例: 本日正午まで、本日17時まで、本日中午など)のものが1日にくつも流れてきます。必死でそれをこなし、ふと気がつく自分の顔が般若のような顔つきになっているらしく、通りかかった同僚に「顔が怖いぞ」と言われハツと我に返る、といったこともしばしば...

このような「時間と勝負の仕事」と平行して、電話対応も重要な業務のひとつです。連日、各都道府県担当者から問い合わせの電話がひっきりなしにかかってきます。文科省としては、この電話のやり取りから現場の一端を知るわけですから、各都道府県からの電話が非常に大切な情報源であり、同時に各都道府県が、自県をアピールする絶好の手段であることがわかりました。

ですから、私も電話をとった際には、なるべくたくさん他県の話聞き、今後の雲南市の施策の参考となるものがないか、探りながら話すようにしています。

こんな感じであったという間に18時半、そして気がつく22時、23時になっているわけ。何はともあれ、皆様の温かいご声援、励ましにより、1年間の研修も無事終わろうとしています。本当に早いものです。しかし、まだ残り3ヶ月。父に、「最後が肝心」と手綱を締め直されました。初心に戻り、気合いを入れて最後の最後まで頑張りたいと思います。

に基金がなくなってしまいうす。したがって、歳入において使える一般財源に枠を設け、基金の取り崩し額を中期財政計画に沿った金額に抑えるよう取り組んでいます。

● 施策に使える一般財源の見込額

(A) 一般財源見込額	185.0億円
(B) 減債基金などからの取り崩し予定額	11.6億円
(C) 人件費に使う一般財源の見込額	44.7億円
(D) 借入金返済に使う一般財源見込額	57.9億円
(E) 施策に使える一般財源の見込額	

= (A)+(B)-(C)-(D) = 93.4億円

※(E)は、基金からの取り崩しを抑えたことと、借入金返済に使う一般財源が増えているため、平成18年度当初に比べ、10.2%の減額となっています。

● 施策を行うために必要な一般財源見込額 100.7億円(F)

● 財源不足見込額 (E)-(F) = ▲ 7.3億円

※編成方針の予算額目標値と前記の「施策を行うために必要な一般財源見込額」には開きがありますが、これは、編成方針の目標値は事業費全体の総合計である一方、前記の見込額は、事業費の一部である一般財源の総合計を言っているためです。収支不足は、前述のとおり一般財源が足りないため発生するので、一般財源をベースに考えています。

に使える一般財源の見込額、「施策を行うために必要な一般財源見込額」及び「財源不足見込額」は次のとおりです。

こんにちは、**保健師**です。**23**

予防接種は
お済みでしょうか?

定期の予防接種	接種年齢
BCG	3ヶ月以上6ヵ月未満
ポリオ	3ヶ月以上7歳6ヵ月未満
ジフテリア破傷風百日せき1期	3ヶ月以上7歳6ヵ月未満
麻疹風しん1期	1歳以上2歳未満 (平成17年4月2日以降に生まれたお子さんが対象となります)
麻疹風しん2期	小学校就学前年度の1年間 (平成12年4月2日から13年4月1日までに生まれたお子さんが対象となります)
ジフテリア破傷風2期	小学6年生(13歳未満)

日本脳炎については、平成17年6月より接種勧奨を中止していますが、海外渡航等の理由により接種が必要なお子さんについては、健康推進課までご相談ください。

**新年度を迎える前に必ず
母子健康手帳を
確認してみましょう!!**

SPコードとは音声読み上げ用の2次元コードです。このコードを専用装置で読み取ることによって、記録されている情報を音声に変換することができます。

